

India Weekly

2020年11月9日

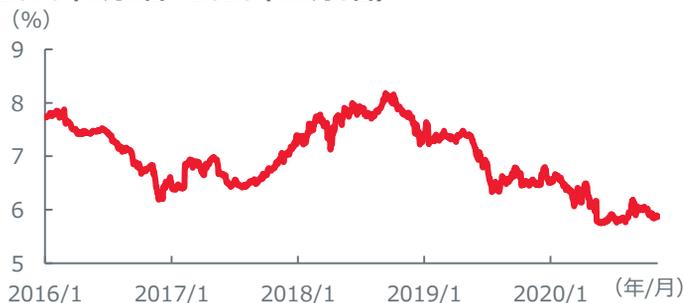
(対象期間：2020/11/2～2020/11/6)

【株式市場】 SENSEX指数の推移
(2016年1月1日～2020年11月6日)

【株式市場】

週初は、時価総額の大きい大手複合企業の下落が重石となった一方、民間銀行や大手住宅金融の好決算が好感されて金融株が買われ、インド株式市場は上昇しました。製造業PMI（購買担当者景気指数）の改善も好感されました。3日も金融株を買った動きが続いて続伸しました。4日以降も、国営銀行の好決算や、米大統領選の投票を終えて海外株式市場の上昇が続いたことから、インドも堅調となりました。週間でも上昇となりました。

2020/10/30	2020/11/6	変化率
39,614.07	41,893.06	+5.75%

【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2020年11月6日)

【債券市場】

週初からインド債券市場は小動きで推移しました。5日はインド準備銀行（中央銀行、RBI）が州政府債を対象とした債券買入れオペを実施し、インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。6日は、前日RBIが翌週オペレーションツイスト*を実施すると発表したことが好感されて朝方10年国債利回りは低下していましたが、その後国債入札の結果を受けて利回りは上昇に転じました。週間では利回り低下となりました。

2020/10/29	2020/11/6	変化幅
5.883	5.872	-0.011

※30日は休場。

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移
(2016年1月1日～2020年11月6日)

【為替市場】

米大統領選挙の投票日はその動向を巡る不透明感から米ドルを買う動きが出てルピーは対米ドルで弱含みしました。その後、週後半にかけて投資家のリスク選好が戻り、ルピーも対米ドルで戻りましたが、週間ではルピー安米ドル高となりました。また、円が対米ドルで大きく上昇・円高となったことから、ルピーは対円で下落となり、週間で対米ドル、対円ともに下落しました。

2020/10/30	2020/11/6	変化率
1.409	1.391	-1.25%

* オペレーションツイスト：長期国債の買いオペと短期国債の売りオペを同時に行い、長短金利を逆方向に動かす公開市場操作

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。